

## 平成19年度優れた教育活動表彰

### 1 学校 (9校)

学 校 名	学校長名	表彰の理由
出雲市立塩津小学校	稲田 隆嗣	<p>・塩津沖を通るフェリー(博多・直江津間を就航)の乗組員との間で、8年にわたり手紙や写真の交換等の交流を実施している。(映画「白い船」のモデル)</p> <p>・総合的な学習の時間や放課後に地域住民の協力を得て「子ども神楽」に取り組み、その成果を敬老会や「白い船」などの様々な機会でも披露している。</p>
雲南市立飯石小学校	藤村 八郎	<p>長崎で被爆しながらも医療活動と平和活動に一生を捧げた永井隆博士の母校として、平和教育を教育活動の基盤に据え、全学年を通じて総合学習やふるさと教育の中に平和学習(永井博士の功績に学ぶ学習)を積極的に取り入れながら、長崎市立山里小学校との交流など特色ある取組を行っている。</p>
奥出雲町立横田中学校	渡部 剛好	<p>国の「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」及び「キャリア・スタート・ウィーク推進地域事業」の指定を受け、地域と連携する中で道徳教育とキャリア教育を結びつけ取り組んでいる。</p> <p>他人との関わり、社会や集団における自分の役割などを考えさせ、5日間の職場体験学習等を実施することにより、生徒が挨拶やコミュニケーションの大切さを感じ取るとともに、親子間で働くことの意義や、将来・進路等について対話する機会の充実につなげている。</p>
飯南町立頓原中学校 飯南町立赤来中学校	桑原 雅次 烏田 勝信	<p>頓原中学校、赤来中学校の両校は、平成10年度から飯南高校との間で中高一貫教育を目指し、中高の教員がチーム・ティーチングによる連携授業を実施するとともに、高校1年生の学力の分析や、部活動・国道54号線の清掃活動・生徒会活動・職員会議等を合同で実施している。</p> <p>また、小中連携としてチーム・ティーチングによる連携授業などにも取り組んでいる。</p>
大田市立福波小学校	周藤 友幸	<p>県社会福祉協議会の「地域ふれあい学習推進事業」の指定を受け、公民館や地域の福祉協議会と連携することにより、1. ものづくり(竹細工、ちぎり絵、柏餅)や給食を通して高齢者と交流するとともに、2. 地域住民の指導によるキャンプ活動・クラブ活動の実施や、3. 他校の特別支援学級の生徒や特別養護老人ホームの高齢者と触れ合う機会を設けている。</p>
川本町立川本小学校	日高 史雄	<p>国の「国語力向上モデル推進事業」の指定を受け、「話し技レベルアップ表」を作成し、国語だけでなく社会や理科など他教科の授業でも活用するとともに、全校集会での詩の群読(ハーモニータイム)や、朝の会でのスピーチなど、様々な発表・発言の機会を設けることにより、「話す力」や「聞く力」の向上につなげている。</p>

隠岐の島町立西郷小学校	角脇 一夫	平成7年から徹底した歯磨き指導など学校をあげて歯の健康づくりに取り組むとともに、児童自らも給食後の歯磨きやむし歯予防に主体的に取り組む、県内小学校の平均値と比較しても非常に低いむし歯罹患率となっている。
隠岐の島町立都万小学校	野津 憲一	昭和40年度から40年以上にわたり、PTAの支援も得て、すべての在籍児童の作文を掲載した文集を毎年作成・配布している。 作文指導に当たっては、表現力を育成することはもとより、日常生活の中で豊かな感じ方や正しい考え方が身に付くようにするとともに、作文を通じて保護者や地域住民の子どもに対する理解や関心を高めることにつなげている。

## 2 団体 (3団体)

団体名	代表者名	表彰の理由
松江八束算数研究会	山内 恭 (松江市立美保関小学校長)	昭和50年に算数科の授業を中心とした研究サークルとして発足。 算数教育に関心を持つ教育関係者に広く門戸を開放し、算数教育の動向や教材研究、授業のあり方について研究を深め、松江・八束地域の教職員の算数科指導力の向上、ネットワークづくりに寄与している。
出雲算数同好会	坂本 達夫 (出雲市立神戸川小学校長)	平成4年、旧出雲市周辺の算数指導に熱意を持つ教師により結成。 算数授業における互いの実践を持ち寄り、検討を重ね、授業力を高める活動を実践することで、同地域の算数教育への考え方を深め、授業の質の向上に貢献している。
5校連絡協議会 ※浜田東中学校及び同校校区内の4小学校で構成	山本 尚生 (浜田市立浜田東中学校長)	平成11年、子どもたちのコミュニケーション能力や規範意識の育成、基本的な生活習慣の定着などを目的に、家庭と地域の連携を中軸に据え、浜田東中学校区内における小中学校5校により結成。 あいさつ一声運動、一斉海岸清掃の実施など、地域への帰属感、親近感、地域で子どもを育てる意識の醸成に取り組んでいる。

### 3 個人 (26名)

氏 名	所属・職名	表彰の理由
	第31回全国高等学校総合文化祭島根県実行委員会企画運営委員会の各部会代表委員	本年、島根県を舞台に開催された第31回全国高等学校総合文化祭は、「地域とともに創る大会」「手作りの大会」を目指し取り組んできたことから、関係者との調整などマンパワーに寄るところが多かったが、とりわけ島根県実行委員会企画運営委員会の各部会代表委員はその中心的役割を果たし、大会成功の原動力となった。
ほそだきんいち 細田欣一	島根県立松江農林 高等学校教諭	(演劇部門を担当)
すだつかさ 須田司	島根県立益田高等 学校教諭	(合唱部門を担当)
おおくほおさむ 大久保修	島根県立出雲高等 学校教諭	(吹奏楽部門を担当)
かつべとしゆき 勝部俊行	島根県立松江東高 等学校教諭	(器楽・管弦楽部門を担当)
くろさきこう 黒崎紅	島根県立三刀屋高 等学校教諭	(日本音楽部門を担当)
うえだみちお 植田道雄	島根県立浜田商業 高等学校教諭	(吟詠剣詩舞部門を担当)
やまもとよしお 山本至夫	島根県立浜田商業 高等学校教諭	(郷土芸能部門を担当)
いそだやすまさ 磯田泰将	島根県立松江商業 高等学校教諭	(マーチング・バトントワリング部門を担当)
すぎたにしゆんいち 杉谷俊一	島根県立松江東高 等学校教諭	(美術・工芸部門を担当)
やまもとこう 山本興	島根県立松江北高 等学校教諭	(書道部門を担当)
ほそぎよしお 細木良男	島根県立松江農林 高等学校教諭	(写真部門を担当)
かわかみあけみ 川上明美	島根県立出雲工業 高等学校教諭	(放送部門を担当)
いたもちさとし 板持寛	島根県立出雲高等 学校教諭	(囲碁部門を担当)
なかむらたけし 中村丈志	島根県立大東高等 学校教諭	(将棋部門を担当)
ふかのかつひろ 深野勝洋	島根県立益田高等 学校教諭	(小倉百人一首かるた部門を担当)
おんだかつゆき 恩田克幸	島根県立出雲農林 高等学校教諭	(新聞部門を担当)
よねやまれいこ 米山れい子	島根県立大社高等 学校教諭	(文芸部門を担当)
おむらなおひさ 小村尚久	島根県立浜田高等 学校教諭	(社会科学部門を担当)
いわよしひろ 岩義博	島根県立大田高等 学校教諭	(自然科学部門を担当)
かじのひとみ 楯野妃都水	島根県立松江工業 高等学校教諭	(生活科学部門を担当)
やましろのりこ 山代典子	島根県立大田高等 学校教諭	(青少年赤十字部門を担当)

<p>おかざき ひろひさ 岡崎 紘久</p>	<p>松江市立第一中学校講師</p>	<p>平成15年、美都中学校長を最後に退職し、平成16年度から初任者研修拠点指導教員として、松江教育事務所管内中学校の初任者教員の指導にあたっているが、教員としての豊かな経験を踏まえ、初任者への指導・助言のあり方を整理し、独自の分析により一人一人の資質・能力に応じた指導・助言を考え、自主研修を重ねながら熱心に取り組んでおり、教員からの信望も厚い。</p>
<p>おがわ みきお 小川 幹雄</p>	<p>島根県立盲学校講師</p>	<p>高い専門性と豊かな人間性、情熱をもって視覚障害者の職業教育に専心し、その教育実践は高い評価を得ている。教員退職後も講師として、後進の指導育成に大きく貢献している。</p>
<p>かめお よしひろ 亀尾 佳宏</p>	<p>島根県立三刀屋高等学校教諭</p>	<p>平成11年に松江工業高校演劇部顧問となって以来、現任校の三刀屋高校においても生徒の演劇指導に力を発揮。県内はもとより、中国地方や全国の舞台上で数々の作品を上演し、昨年の全国高校総合文化祭では優秀校として東京公演を果たすなど、その指導の成果は全国的な評価を得ている。</p>
<p>ながせ きよし 永瀬 清</p>	<p>雲南市立海潮中学校事務リーダー</p>	<p>昭和52年から5年間、島根県公立小中学校事務職員研究会会長を務め、学校事務の充実・発展、事務職員の能力向上・職務改善に貢献した。 その後も後進の育成に努める傍ら事務職員の将来像を見据えて学校事務に関する広範な研究活動に取り組むなど学校事務職員の資質向上、学校事務の運営改善に尽力している。</p>
<p>はまさき きょうこ 浜崎 香子</p>	<p>斐川町立斐川西中学校教諭</p>	<p>平成10年から合唱の指導を始め、卓越した指導力で毎年、中国大会や全国大会出場を果たし、NHK全国学校音楽コンクール、全日本合唱コンクールでは常にトップクラスの成績を収めるなど、その指導の成果は高い評価を得ている。</p>